



八重山圏域の透析医療提供体制について

- 1. 八重山圏域の透析患者の状況と医療提供体制について
- 2. 取組・対応方針

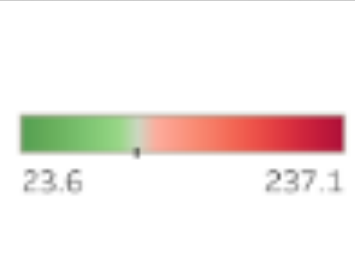
令和7年2月
沖縄県保健医療介護部 医療政策課

Chapter

1

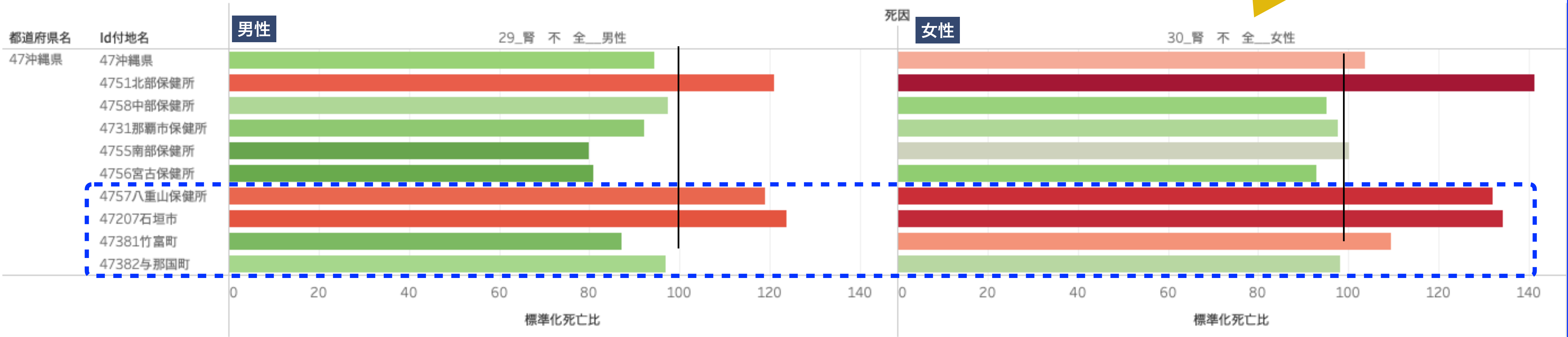
八重山圏域の透析患者の状況と 医療提供体制について

疾病別の標準化死亡比（SMR）

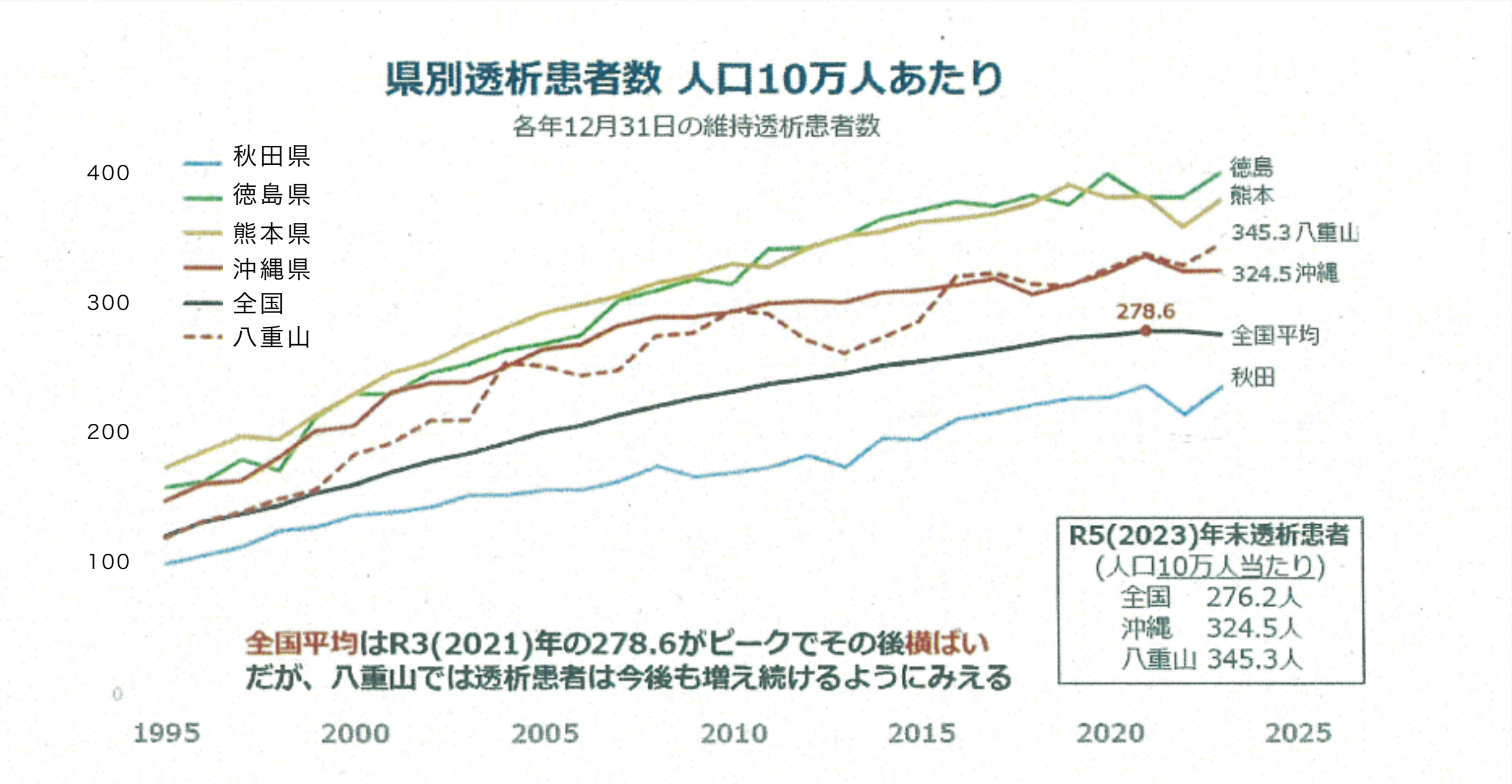


市町村名	がん 大腸 男性	がん 大腸 女性	がん 肝 男性	がん 肝 女性	がん 肺 男性	がん 肺 女性	急性心筋 梗塞 男性	急性心筋 梗塞 女性	心不全 男性	心不全 女性	脳血管疾患				肝疾患		腎不全		老 衰 男性	老 衰 女性
											脳内出血 男性	脳内出血 女性	脳梗塞 男性	脳梗塞 女性	肝 疾 患 男性	肝 疾 患 女性	腎 不 全 男性	腎 不 全 女性		
石垣市	104.1	98.6	67.5	85.5	106.3	126.8	63.6	71.6	65.1	62.2	233.5	174.8	109.0	92.6	216.4	231.2	123.6	134.3	113.5	81.8
竹富町	107.4	84.0	86.6	59.5	101.3	101.0	94.4	105.3	57.7	49.0	172.6	152.8	74.7	44.8	171.2	151.2	87.1	109.4	62.9	95.8
与那国町	108.5	87.3	75.1	65.0	96.5	95.3	104.4	129.8	65.9	71.2	123.5	99.8	78.3	70.2	174.2	165.1	96.9	98.1	67.5	130.3

<標準化死亡比_腎不全>



透析患者の推移



- 国内の透析患者は血液透析と腹膜透析を併せ人口10万人当たり276.2人、沖縄県は324.5人で全国に10番目に患者が多い県である（日本透析医学会雑誌2023年12月）
- 患者数の全国平均は2021年の278.6人をピークに横ばい（～わずかに減）であり、沖縄県でも増加に歯止めがかかったように見えるが、同時期の八重山の透析患者は血液透析と腹膜透析を併せ183人で、10万人当たり345.3人（八重山医療圏人口53,423人）と沖縄県内では比較的患者が多い地域であり、しかも患者数は増加が続いて減少傾向はみられない。

医療機関別透析患者数（2024.11時点）

県立八重山病院	61人
よなは医院	63人
石垣島徳洲会病院	49人
合計	173人

- 前年末に比べ10人減っているが、2024年12月時点で八重山病院通院中の患者にeGFR<10の患者が35人いることがわかっており、この方々は早晚透析導入になると見込まれる。

（県立八重山病・和氣院長ご提供資料より）

八重山圏域における透析医療の現状について

◎ 令和 7 年 1 月 16 日 八重山圏域における 3 医療機関を訪問し、現状確認（訪問順に記載）

■ 石垣島徳洲会病院

- ・ 看護師の確保に苦慮している。（特に毎年度末は家族の転勤に伴い辞める看護師もいる）
- ・ 看護師確保のためグループ内にて移住の支援金制度も準備しているが、短期滞在で定着にはなかなか繋がらない。
- ・ 旅行透析も受け入れているため、季節によっては受け入れ患者数は増える。

■ 沖縄県立八重山病院

- ・ 患者の状態により、3 医療機関で調整をし透析医療を提供している。そのため、患者数は変動する。
- ・ ハード面をみれば、八重山圏域において 200 名程度の透析医療の提供は可能だが、人がいない。看護師はもちろんのこと、医師や ME も足りている状況とはいえない。
- ・ 他府県の自治体病院に協力を求められないかとも考えたが、全国どこも人手不足の状況がある。

■ よなは医院

- ・ 一番の問題は看護師不足。年度末に看護師が 2 人辞職するため事態は深刻。透析を担当できる看護師は経験値が必要であるため、通常の看護師確保よりも難しい状況にある。
- ・ 八重山の透析に係る医療提供体制は限られるため、重症患者を引き受けざるを得ないこともある。
- ・ 透析の導入についても、患者や家族へ状況を説明し慎重に選択いただいている。

◎ 令和 7 年 1 月 23 日 沖縄県透析医会・名嘉会長調整

- ・ 人材確保（特に看護師）が課題との認識。緊急時の支援体制について共有。

◎ 令和 7 年 2 月 11 日 沖縄県看護協会ナースセンター・兼城センター長調整

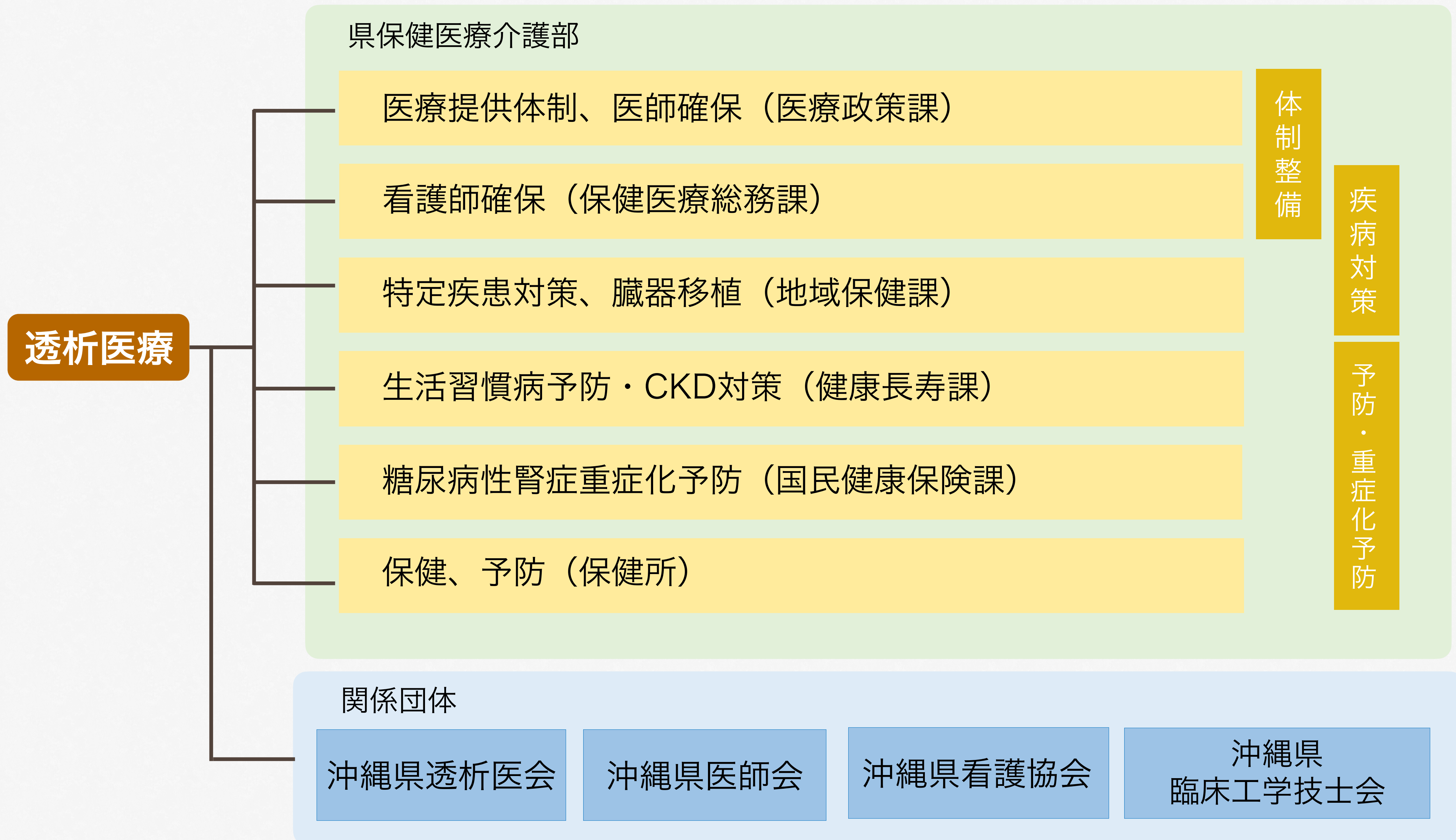
- ・ よなは医院における看護師確保支援の状況について共有。

Chapter

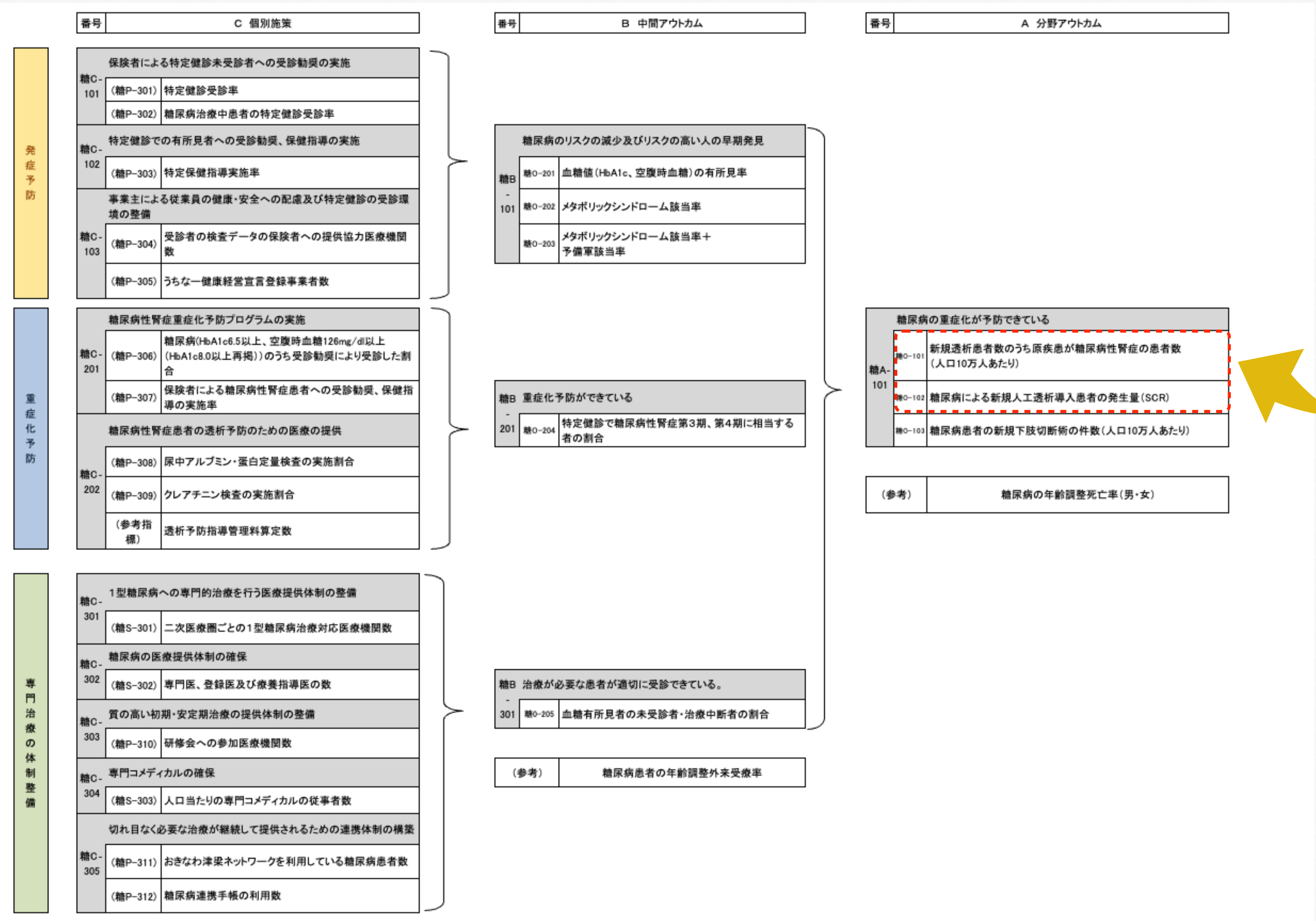
2

取組・対応方針

沖縄県の透析医療に係る関係組織・団体について



疾病対策：糖尿病対策（沖縄県第8次医療計画 糖尿病対策分野）

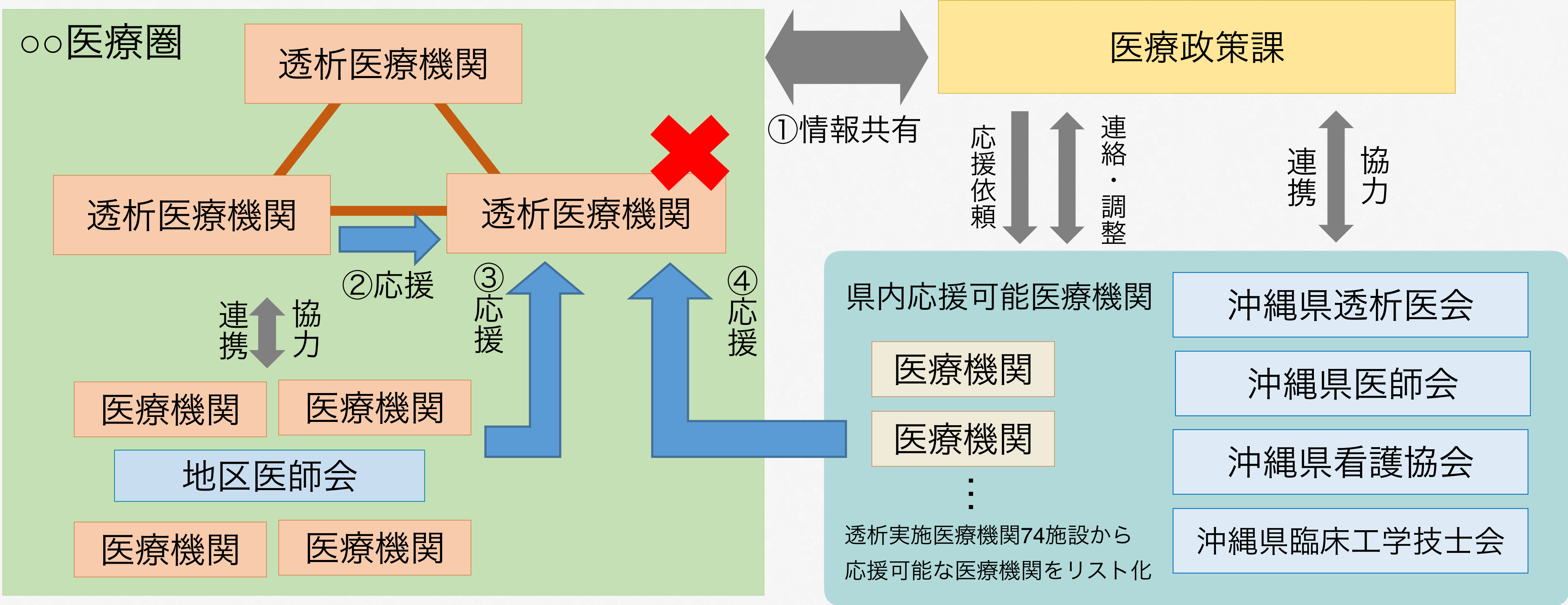


- 新規透析患者数の減を最終アウトカムとして設定
- 今年度の進捗評価においては、
 - ・トライアングル事業
 - ・（尿中アルブミン・クレアチニン等）検査の実施
 - ・おきなわ津梁ネットワークの活用
 - ・糖尿病連携手帳の利用促進

の4つが取組を強化すべき項目としてあげられた。

体制整備：緊急時の応援・連絡体制について

- ① 透析医療の維持が困難となる透析医療機関(又は関係医療機関)から、医療政策課へ情報提供
※情報提供以降、医療政策課と情報共有・連携
- ② 当該地域の他の透析医療機関からの応援体制を検討
- ③ 当該地区医師会を中心に、地域内の他の医療機関による応援体制を検討
- ④ 地域内での応援体制が十分確保できない場合(又は上記②、③の検討と並行して)、医療政策課が県透析医会や県看護協会等と連携し、応援可能医療機関による応援体制を検討



体制整備：看護師確保

看護師等誘致支援事業

令和6年度予算要求額： 6,300千円
地域医療介護総合確保基金（医療分）

事業目的

離島における看護職員の確保を図り、県内の地域偏在を調整するとともに、医療提供体制の維持・確保及び充実を図る。

事業内容

離島における看護職員を確保するため、県外**又は沖縄本島**在住の看護師等に対し、県内離島の医療機関等で一定期間就業することを条件に、就業助成金を支給する。（医療機関への補助）

☆令和7年2月に誘致対象を拡大・沖縄本島在住の看護師等も誘致対象に含めるよう要綱改正を行った。

補助対象者：看護師等の人材確保の推進に関する法律第2条第2項に該当する県内離島の医療機関等
（診療所については、医科診療所に限る）

補助内容：複数世帯：40万円/世帯 単身世帯：20万円/世帯

補助割合：9割

補助要件：週30時間以上かつ1年以上の勤務を行うことができる者

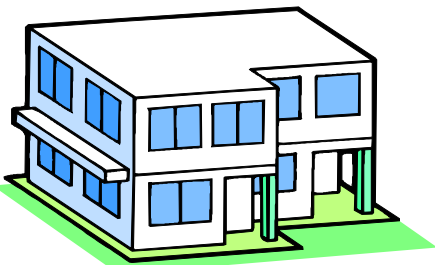
事業イメージ



補助金申請



補助(9/10)



雇用



就業助成金支給
（複数世帯40万円、
単身世帯20万円）
10



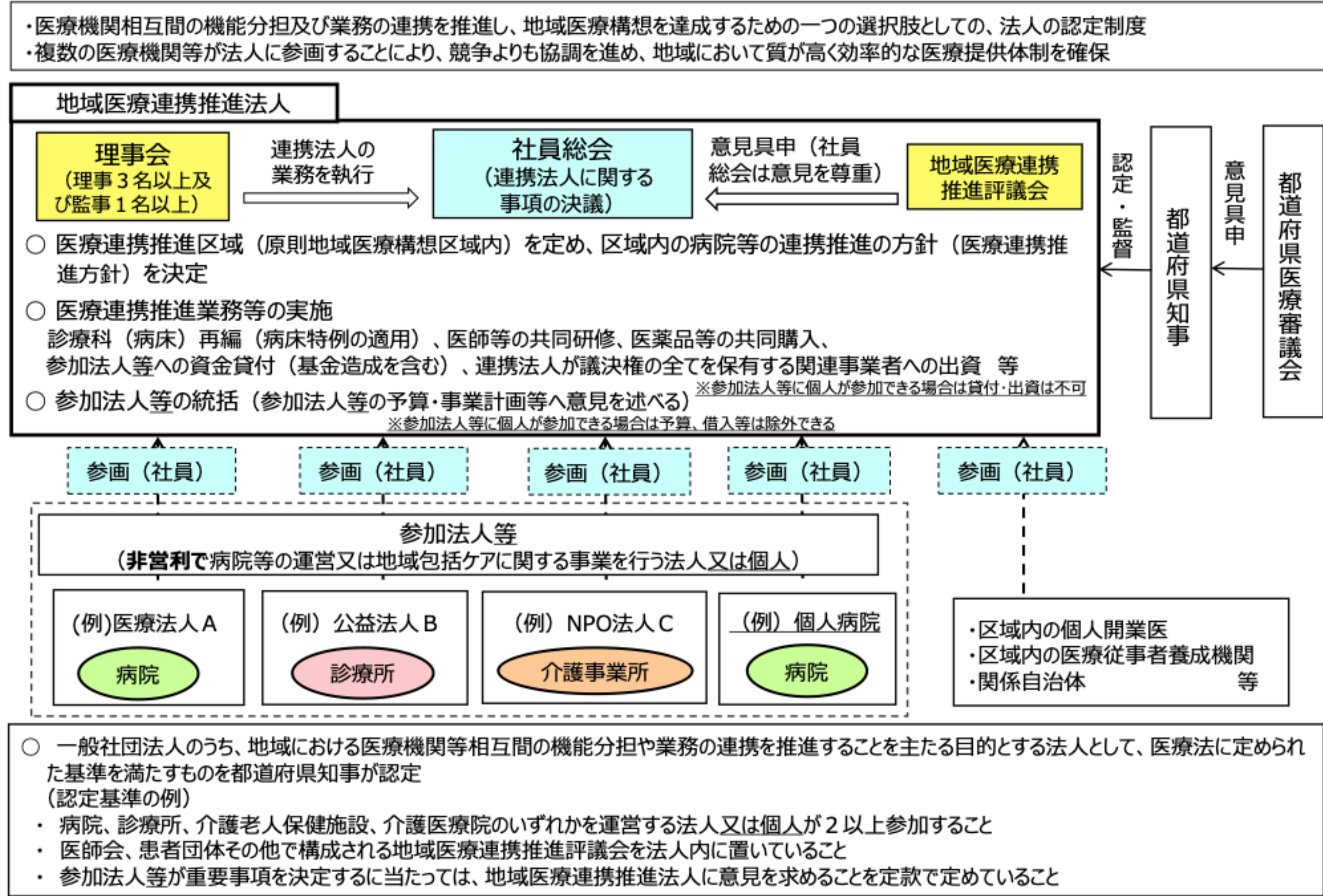
県外**又は沖縄本島**
看護師等

今後の連携体制について（地域医療連携推進法人の検討等）

地域医療連携推進法人制度の概要

※制度改正後（令和6年4月1日以降）
下線部分が改正箇所

令和6年3月29日
新たな地域医療構想等に関する検討会議資料



その他の取組・対応策

- ◎ 沖縄県看護協会
ナースセンター事業について
- ◎ 沖縄県健康長寿課
CKD対策について
- ◎ その他